

行動科学に基づいたセルフケア用具の選択と使い方

日常のブラッシング行動は、歯周治療の治療計画に大きく影響します。臨床においてブラッシング指導を繰り返しても、適切なブラッシングが定着しないことが原因で、十分な治療効果が得られないことも多いのではないのでしょうか。適切なセルフケア習慣の定着が歯周治療の成功のカギの一つになります。

TBI を行っても、プラークコントロールが改善しない患者さんに対して、ただ、コンパクトな歯ブラシをもちいて時間をかけて1本ずつ丁寧にブラッシングをするような画一的な指導をくりかえしたりはしていないのでしょうか。私たち歯科専門家にとっては、歯ブラシを歯面に適切な角度で当てたり、細かく振動させること自体は、さほど難しくないように感じるかもしれません。しかしながら一般生活者にとって、複雑な形態をしている歯面の清掃を、ほとんど手指の感覚のみに頼って行うブラッシングはテクニックを要するものです。特に高齢者においては、自分自身の口腔内状況の把握が難しいことも多いだけでなく、手指の筋力の低下などにより、細かく歯ブラシを操作することが困難であることも多々あります。さらに困難なことは、日常生活での継続性です。たとえ診療室ではできたとしても、長年続けてきた日常生活でのブラッシング習慣を変えることは高齢者でなくても容易ではありません。

そこで今回、保健指導で患者に求めるセルフケアの行動変容の負担を軽減するための、行動科学に基づいたセルフケア用具の選択と使い方について解説いたします。

高柳 篤史(たかやなぎ あつし)先生

平成元年 3月 東京歯科大学卒業
平成元年 5月 川崎市作間歯科医院勤務(平成4年3月まで)
平成8年 3月 東京歯科大学大学院歯学研究科修了
平成8年 4月 東京歯科大学衛生学講座研究助手
平成10年 4月 埼玉県幸手市・高柳歯科医院(現在に至る)



スタディーグループ「はみがき学の会」主宰

東京歯科大学客員教授
日本大学松戸歯学部兼任講師
東京歯科大学同窓会卒後研修委員
幸手市歯科医師会会長

主な著書・論文

- 唾液の科学(共訳) 一世出版 1998
- 歯みがき・歯ブラシ大図鑑(共著) 医学情報社 1999
- 歯肉縁上のプラークコントロール(共著) 医歯薬出版 2004
- 困った患者さんにどう活かす診療室の行動科学(共著)クインテッセンス出版 2008
- 歯磨きのソムリエになる デンタルハイジーンVol. 28(No.1~6)医歯薬出版 2008
- 疫学データからみる、歯を保つための今後の課題 歯界展望 2008.9月
- 歯ブラシの機能と選択 歯科学報Vol. 106(2)2006
- セルフケアの処方箋(共編著) 医歯薬出版 2009
- 口腔保健推進ハンドブック(共著) 医歯薬出版 2009
- モチベーションを上げる15のアドバイス(編著)クインテッセンス出版 2009
- 歯の着色 Update デンタルハイジーン Vol.36(No.5~8)医歯薬出版 2016
- 歯ブラシを科学する 日本歯科医師会雑誌 2017
- 根面う蝕の臨床戦略(共編著)クインテッセンス出版 2018
- セルフケア指導 脱誤解と思い込み クインテッセンス出版 2021

愛歯発第138号
令和5年5月15日

一般社団法人 愛媛県歯科衛生士会
会 長 川上 三紀

一般社団法人 愛媛県歯科医師会
会 長 橋 本 成 人
学術担当常務理事 佐々木 勝 英
(公 印 省 略)

令和5年度 第3回歯科医療従事者の人材育成事業講演会のご案内
—第5回ペリオ講座—

若葉の候、先生方にはますますお元気で診療に励んでおられることと存じます。

平素は、会務運営にあたり格別のご理解を賜り、まことにありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり講演会を開催いたします。本講演会は、ペリオを中心とした講演会の第5回目でペリオ講座の最終回です。今回も Web 配信による講演とさせていただきます。

今回は「行動科学に基づいたセルフケア用具の選択と使い方」と題し、埼玉県ご開業 高柳歯科医院 高柳 篤史 先生にご講演をお願いいたしました。本講演会は講師の高柳先生より、ぜひ歯科衛生士等の従業員さまにもお聞きいただきたいとお話ございましたので、歯科医院の皆様で奮ってご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

受講ご希望の方は、6月1日(木)までに下記よりお申込みいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和5年6月7日(水) 19:30～21:00 (予定)
2. 場 所 Web
3. テーマ 「行動科学に基づいたセルフケア用具の選択と使い方」
4. 講 師 高柳歯科医院 高柳 篤史 先生 (埼玉県ご開業)



〈お問い合わせ〉

愛媛県歯科医師会事務局 担当：瀧本・華岡

TEL：089 (933) 4371

FAX：089 (932) 5048

E-mail：takimoto@ehimeda.or.jp